

第6期ライフサポート5カ年プラン  
～生き生きプラン～

令和4年4月策定

今年、こなんSSNが開設して25年になります。近年、規制緩和によって全国的に支援機関は圧倒的に増えてきたといえます。当法人としても、現在、就労継続支援B型事業所3か所、グループホーム3ユニット、生活介護事業所1か所、相談支援事業所2か所を設置運営しています。さらに、高齢の家族と暮らす当事者や一人暮らしを始める当事者の生活を支える自立支援生活援助事業の運営、セルフヘルプグループの支援も行っています。

前期プランでは、障害者の在宅生活の支援として自立生活援助事業や生活介護事業をスタートしました。そのなかで、介護保険サービスとの連携や共生を図り、制度の狭間に陥らないよう高齢障害者が安心して活動できるよう支援を展開していきます。障害者雇用では、より多くの障害者に機会をつくるため有期限で行ってききましたが、障害者雇用の在り方を見直し、あらたに当事者の力を発揮できる場をつくっていくために「こなんSSNモデル」の立ち上げを検討します。継続している事業においては、幅広いニーズを抱えている就労継続支援B型事業所やGHの利用者がより活躍・安心しできる場を展開していきます。そのためにそれらを支える職員が生き生きと働ける体制づくりを行い、引き続き法人組織の強化も図っていきます。

こうした新たな局面を迎えた社会福祉法人こなんSSNの整備目標として次のものをすすめます。

1. 定員増にあわせた生活介護事業所「輝」の施設整備
2. 就労継続支援B型事業所「シエスタ」の改修
3. 法人各事業を担える当事者の育成（グループホーム、相談支援、B型事業所など）
4. 就労継続支援B型事業所からステップアップできる場「こなんSSNモデル」の立ち上げ
5. 多様化したニーズに対応できるグループホームの増設
6. 高齢精神障害者への支援事業の検討と介護保険サービスとの連携や共生を考える
7. 職員が生き生きと働ける労働環境整備
8. 法人本部の組織強化